

議 事 録

会議名	令和 7 年度第 1 回丸亀市福祉推進委員会 (第 2 回第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会)
開催日時	令和 7 年 7 月 24 日 木曜日 13 時 58 分~16 時 12 分
開催場所	丸亀市役所 2 階 201・202 会議室
出席者	出席委員 北川 裕美子、齊藤 栄嗣、高橋 順子、武田 龍広、青野 美保、香川 智子、吉田 ゆかり、進 和彦、永田 大樹、井戸 いちこ、奥田 道大、木下 眞一、宮武 博之、木村 奈美 (14 名) 欠席委員 なし 事務局(丸亀市) 健康福祉部長 谷本 智子、福祉課長 近藤 武司、高齢者支援課長 横井 明子、福祉課地域共生社会推進室長 稲田 耕平、福祉課副課長 西山 晃子、福祉課障がい福祉担当長 中川 由吏子、福祉課地域共生社会推進室総括担当長 万谷 幸 丸亀市社会福祉協議会 事務局長 大喜多 章親、共生社会推進グループリーダー 高尾 光一 第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定支援委託事業者 株式会社名豊 大川 祐希
次第	1. 開会 2. 挨拶 3. 委嘱状交付 4. 説明 5. 議事 議題 1 会長・副会長選任 議題 2「丸亀市第 3 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の進捗状況について資料 1 議題 3「丸亀市第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定に係る経過報告について資料 3 資料 4 資料 5 資料 6 議題 4 その他 6. その他 7. 閉会
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨

事務局(近藤課長) 健康福祉	1. 開会 失礼します。会議開催予定が14時ちょうどですが、予定されている皆さまが揃いましたので、よければ少々早めにスタートさせていただきたいと思いますが、大丈夫でしょうか。それでは失礼いたします。 皆さまお揃いですので、ただ今から令和7年度第1回丸亀市福祉推進委員会を始めさせていただきます。 委員の皆さま方におかれましては、大変お忙しい折、ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。私は、本日進行を務めさせていただきます、健康福祉部福祉課課長の近藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。 本題に入る前に、本日の会議資料について説明をさせていただきます。 【資料説明】 それでは新しく本日配布しております、次第に沿って進めてまいります。 それから、はじめにお断りさせていただきますが、本来でありますと、丸亀市福祉推進委員会の会議の招集については、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定に「会議は会長が招集する」とありますが、本日お集まりの委員の皆さまの任期が令和7年7月1日からの2年間となっております。本日が任期後の初めての会議となり、現在、まだ会長が決まっていない状態で、不在ということになります。従いまして、案内は市長名で発出させていただいております。また、この後、会長が選任されるまでは、丸亀市の方で会長の代役を務めさせていただきますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。 次に、本会議の成立についてご報告いたします。本会議は、丸亀市附属機関設置条例第1条別表の規定によりまして、委員の半数以上の出席が開催要件となっております。本日の出席ですが、委員14名中14名、すべての委員にご出席をいただいております。よって、半数以上の定数を充足しておりますことから、会議は成立しておりますことをご報告させていただきます。 また、本日の会議は公開となっております。会議録につきましては、委員の皆さま、出席者の氏名及び発言内容を記載して公表いたします。会議後、出席委員の皆さまには、後日、議事録をそれぞれにお届けさせていただきます。内容をご確認の上、署名してお返しいただきますようお願いいたします。全員の確認を終え、問題がない状態になれば、丸亀市のホームページで公表いたします。 それでは会議の方を進めさせていただきます。まず次第2、健康福祉部部长谷本から、開会にあたり、挨拶を申し上げます。 2. 挨拶 【健康福祉部部长 谷本 挨拶】
---	--

部長	
事務局(近藤課長)	3. 委嘱状交付 次に次第 3、令和 7 年 7 月 1 日から、丸亀市福祉推進委員会委員になられます委員の皆さまに委嘱状を交付いたします。本来でありましたら、先ほど部長の挨拶にもありましたが、松永恭二丸亀市長から交付すべきですが、他の公務と差し合っており出席が叶いません。代わりに、谷本健康福祉部長から交付をさせていただきます。 このあと、氏名を読み上げさせていただきます。呼ばれましたら、その場でご起立をお願いいたします。 【委嘱状交付】
委員全員	【委員自己紹介】
事務局全員	【事務局自己紹介】
株式会社名豊大川	【第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定支援委託事業者 株式会社名豊 自己紹介】
事務局(近藤課長)	4. 説明 それでは、次第 4 の方に入ります。説明ということで、「資料 1」をご準備願います。説明につきましては、福祉課地域共生社会推進室室長、稲田よりさせていただきます。
稲田室長	【資料 1 に基づき説明】 ただいまの説明につきまして不明な点、またご質問があれば、挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。
事務局(近藤課長)	5. 議事 それでは、次第 5、議事に移ります。 議事の方ですが、丸亀市附属機関設置条例第 7 条の規定で「会議は、会長が議長となる。」とあります。先ほど申し上げましたが、丸亀市福祉推進委員会には、まだ会長が選任されておられません。そこで会長が選任されるまでの間、私が議長の任を務めさせていただきます。 議題 1 会長・副会長の選任についてを議題といたします。 丸亀市付属機関設置条例第 66 条の規定に、「会長及び副会長は委員の互選により定める」とあります。選出について、いかがいたしましょうか。

木下委員	事務局案はありませんか。
議長(近藤課長)	ただ今事務局案はありますかとのご発言がありましたが、事務局に案はありますでしょうか。
事務局(稲田室長)	はい。失礼いたします。事務局案でございますが、福祉推進委員会会長には北川委員様、また、副会長には進委員様にお願いをしたいと存じます。
議長(近藤課長)	ただ今、事務局案がありましたが、他にご意見はございますか。 (意見なし)
議長(近藤課長)	そうしましたら、事務局案にありましたように、会長に北川由美子委員。副会長に進和彦委員ということで意見がありましたが、賛成の委員については挙手でお示しをいただきたいと思っています。 (委員挙手)
議長(近藤課長)	ありがとうございます。賛成多数によりまして、会長は北川由美子委員、副会長は進和彦委員に選任することに決定いたしました。会長が選任されましたので、これより先の議事進行は北川会長に議長として進めていただきます。私はここで議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
北川会長	ここで議事に入ります前に会長、副会長に選任されました北川会長、進副会長から一言ずつご挨拶を賜りたいと思います。北川会長からどうぞよろしくお願いいたします。
進副会長	【会長挨拶】
事務局(近藤課長)	【副会長挨拶】
北川会長	ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは北川会長、議事進行をお願いいたします。
北川会長	議題 2「丸亀市第 3 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の進捗状況について それでは早速始めていきたいと思います。次第に沿って議事を進めてまいります。委員の皆さまには円滑な進行にご協力いただきますようお願いいたします。

北川会長	議題 2 の「丸亀市第 3 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の進捗状況について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局(万谷)	【資料 2 に基づき報告】
北川会長	ありがとうございました。ただいまの報告につきまして、ご質問ご意見等ございましたら挙手をお願いいたします。 今回、初めての委員の方もいらっしゃると思います。すぐには出てこないかと思いますが、もし前回からいらっしゃる方、疑問等あればと思いますが。 ご説明があったかもしれませんが、基本目標 3 の「ふれあい・いきいきサロン開設数」が今現在 130 か所になっているということで、このあたりは今後開設、増えるような予定があるのか、またどのようにしていく形で計画されているのか、もし、あれば教えていただきたいと思います。今わかる範囲内で構いません。すみません。
高尾 GL	「ふれあい・いきいきサロン」については、実はここ 5 年間程 130 か所前後で推移しております。 丸亀市を北と南に分けたときに、いきいきサロンが活発だったのが、南部地域でした。そのサロンに関しては、食事提供型で一日を楽しく過ごしていただくという形が多かったのですが、そこは実際、運営される方の負担が大きくなってしまい少々尻すぼみになってしまい、運営者が高齢化したことによって、サロンが続かなくなってしまったというところがあり、南部の方は減少傾向にあります。 一方、北部に関しては自治会を中心に、このような集まりを作らなければならないという声があって、自治会の方が進めてきたということで、顔見せ、顔合わせして情報交換をするようなサロンが増えてきたような感覚があります。 従って、丸亀市全体で考えると、あまり変わっていないのですが、北部、南部でいろいろと動きがあった結果、このようになっています。 今後に関しては、助成金を付けた事業にはなっているのですが、助成金にも限りがあるため、バランスをとりながら続けられるものは続けていくという形、また、自治会に対しての助成金等を考えながら、自治会を中心にしてサロンができていけばということで今進めております。以上です。
北川会長	すみません、ありがとうございます。おそらく今後も人口減少などを考えていくと、開設数が増えるというよりも中身、今の話聞いていると。今残っているサロンの内容や質的なところが、もし今後も目標値というか、評価の指標になっていってもよいのかというように聞いていました。
北川会長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。それではよろしいでしょうか。

高尾 GL	基本目標 3 の「情報♡ほっとメール登録者数」なのですが、これは、認知症などで行方不明になられた方の発見に非常に大事だと思っています。 目標 5,000 人という目標値の設定のときに根拠というか、何かあったのかというところと、現状値というところで令和 2 年度は 3,262 人でしたが、3,889 人ということで増えているため、働きかけをされて、企業さんや団体さんなどの登録が増えたのかと、大変よかったと思うのですが、目標が 5,000 人となっているため、この後の展開などお聞きしたいです。 あと、このメールで発見されたということもあれば、教えていただきたいと思いました。 5 年前の目標数値に関しては、明確な目標があって 5,000 人にしたわけではなく、これを目指そうということで設定したものです。この「情報♡ほっとメール」の仕組み自体が、いわゆる E mail なのです。E mail というものは、読みに行かなければ手に入れることができないということで、SNS や LINE などはプッシュ型で、何もしなくても入ってくる、そのようなメールではなく、ほかの SNS 等の活用ができないかという検討を進めたところがあります。 したがって、メールは今現在、限界があるということが正直なところなんです。年間大体 5 件ほど地域包括支援センターから情報いただいて、メールを流させていただくことがあるのですが、生きている・死んでいるに関わらず発見されるというケースで集計しております。なかには残念ながらというところもあったのですが、やはりメールを出して、同時多発的に皆さんに探していただけるということで、発見につながるという事例もあるため、このような仕組みに関しては、今後も計画していきたいと考えております。以上です。
北川会長	よろしいでしょうか。ありがとうございます。他にご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、特にご意見がないということです。本件につきましては了承いたします。
事務局(万谷) 北川会長	議題 3「丸亀市第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定に係る経過報告について 続きまして、議題 3「丸亀市第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定に係る経過報告について、事務局よりご説明お願いいたします。 【資料 3~4 に基づき報告】（アンケート調査まで） かなり多い情報・報告があったかと思います。先ほどの説明にありましたように、この時間で見えていないところもあるかもしれないため、また後日ということでよろしいかもしれませんが、今の時点で、報告の中で何かご質問等あればお願いいたします。

武田委員	民生委員の武田です。基本的なところを教えてくださいたいのですが、アンケートを出している事業所と団体、福祉関係事業所というのは、施設的にいうと、こども園、病院、介護施設など、そのようなところをいつているものなののでしょうか。 団体はどのような団体、どのようなものが団体に属しているのでしょうか。例えば、長寿会などいろいろあるではないですか。どのようなところへアンケートを出しているのですか。 初歩的なことなのですが、すみません。初めての方もいらっしゃると思いますので。
事務局(万谷)	事業所につきましては、児童養護施設、老人福祉施設、障がい者施設等を中心に事業所を設定しております。相談支援事業所の方も、今回アンケートを送付させていただきました。福祉関係団体につきましては、NPO 法人や福祉団体の方に送付させていただいております。
武田委員	ありがとうございます。あと、高校生のアンケートですが、これは学校で回答するのか、それとも自宅へ持ち帰って郵送で回答するのですか。学校で 1 時間、30 分あるいは 40 あれば回答率が上がるのではないかと今思ったところでございます。 高校生に対して、どちらで回答を求めているのかということです。 回答率が違いますから。学校ですれば 80 ぐらいは上がるのではないかと思います。家に持って帰れば 50 だから、単純な質問です。
大喜多事務局長	高校生のアンケートです。高校生のアンケートの表紙、目次、その次のページに実は概要というところがあるのですが、調査の概要というのがあるのですが、調査方法といたしましては丸亀市内高等学校 9 校、通信も含めてなのですが、そのところで調査方法として、郵送による配布、持って行ったところもあると思うのです。回収をしてもらったところも学校であると思います。ウェブによる回答があります。近年ですと、高校生の方はウェブの調査も一般的であるため、今回そのような手法を取らせていただきました。以上です。
武田委員	あくまでも、自宅送りですか。学校ではなく。ここでわかれますよね。自宅送りならば、回答率が下がります。 学校には直接依頼をかけて、お願いに上がりました。
大喜多事務局長 北川会長 高橋委員	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。はい、どうぞお願いします。 質問です。「資料 2」の災害時避難行動要支援者名簿の平常時開示の同意率 83.5%が非常に高いと思ったのですが、アンケートの中で 119 ページ、災害時避難行動要支援者名簿を知ってい

事務局(万谷)	ますかと、認知度とアンケートでは、知らない方が 80%近くで多くなっています。これは、どのように解釈すればよいのでしょうか。 災害時避難行動要支援者の名簿登録制度につきましては、対象者の方にこちらの方から申請書をお送りさせていただいて、登録をしていただいているという形になっており、ホームページ等では周知を行っておりますが、アンケート対象者については、そのような申請書や登録制度を聞いたことない、見たことがないという結果になったのかと思います。 対象者の方以外にも、周知が必要になると思うため、今後その周知というところに課題を置いて認知度を深めていきたいと思っております。
高橋委員	ありがとうございます。 対象者というのが、高齢者、障がいの方、介護認定されている方などの対象者には通知され、同意もしていただく率が高いが、全体で見るとそのことを知らないという人が多いということですか。ありがとうございます。
北川会長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。はい、どうぞ。
青野委員	少々疑問だったのですが、どのように解釈すればよいのかと思ったのですが、35ページの問16の孤独感です。影響を与えると思う出来事というところで、その回答の項目が一人暮らし、家族・親族との別れに次いで自分の健康、病気や不安、環境が変わった、介護・育児などあるのですが、人間関係というのは、どのように解釈すればよいのかと思ったのですが。
事務局(万谷)	人間関係というところにおいては、いろいろ解釈ができると思うのですが、人間関係、例えば、いじめではないのですが孤立してしまうようなこと、人間関係によって孤独を感じてしまうようなことという意味で選択肢として一つ加えております。 人間関係によって、さらに孤独を感じることもあるのではないかと思います。
青野委員	質問項目の中で、また説明があるということかもしれないですが、結構多い割合もありますし、全体的に広い意味で人間関係ということで選択した可能性があるかもしれないです 物理的な孤独とまた少々違います。 コミュニティ、大事に、人と人が寄り添ってなど、人との関係というところを、福祉では、非常に大事にされると思うのです。 人間関係のなかで、孤立を感じるというところを、どのように進めてこの数をどのようにとって進めていかれるのかというところでした。 しかし、後の若者のところですが、今まで私たちは人と、直接会ってというところで、関係、孤立感を持たないようにという仕組みづくり、取組を進めてきたと思うのですが、でも、若い方

北川会長	にとっては、直接ではなくても、おばあちゃんなど、そのようなところで繋がっていたりなど、繋がりというところをどう捉えるか、広くもっと方法としてというところも考えていけないといけないのかと思ったりもしました。 ありがとうございます。何かコメントありますか。
事務局(万谷)	ご意見、どうもありがとうございました。 確かに人間関係というところで、どのようなところにおいて回答されたかというところまで、深く入っておりません。選択肢として、つながりというところを大切にしていく中で、ただやはり孤独感に影響を与えるものとして、社会、仕事、学校などいろいろな場面で、人間関係において孤独を感じるところはあるのではないかとというところで、どのくらいの人がどういところで孤独を感じているかということで項目の追加をさせていただいたのですが、今後の施策でどのように反映していくかというところにおいては、おっしゃる通り人間関係というところの設問だけでは読み解くことが難しいと分かりましたので、次の機会ではもう少し。
株式会社名豊大川	今、ご指摘いただいた、孤独についての人間関係という、どのようなところに要因があるのかについては、ほかの設問の中に、親族との繋がり、人間関係が今ある方なのかない方なのかが人間関係で答えられているのか、また、人間関係と回答された方がそのような居場所といったところがあるのかどうかということは、ほかの設問で聞くことができるため、クロス集計などを通じて、細かく分析をしていきながら、そのような要因を掘り下げていければよいと思いました。 ありがとうございました。
北川会長	ありがとうございました。他にいかがでしょうか。 わたくしから、少々お時間あれば、お聞きしたいのですが、前回の調査が回答者数 1,412 人だったところで 365 人程減っていますが、これも致し方ないということでしょうか。 人口減少の中で、このまま、このように、急速に減っていくことはないと思うのですが、WEB 回答など、いろいろ工夫されているということですし、この程度減ってしまうということは、仕方がないのですか。
事務局(万谷)	今回、WEB 回答も新たに追加して、発送だったのですが、大体 WEB 回答が 22%で郵送での返送が 78%となっており、22%の方がウェブで回答していただいているというところにおいては、通常の郵送よりは増えているという結果にはなるのですが、前回と比較して確かに有効回答数が減少しているということは事実です。

北川会長	また前回、アンケート調査中は20日間、そこも影響している可能性があるのではないかと 思うのですが、今後この有効回答数を上げていく、もう少し WEB 回答もやりやすく設問をす るということが今後の課題かと思っております。 ありがとうございます。 郵送で有効回答が 35 ということは、割とそのようなこともあるかと思いつつも、質問も多分 増え、量も多いですし、今後、質問回答すべてすることに時間がかかり大変だということが増 えてくるのかと思います。また今後検討していただければと思います。 もう一点は質問ではないのですが、別の市町村の方でも、このようなアンケート結果をとっ たときに、出た意見として、地区別の結果がありますが、その地区は、ほかの地区よりも高 かったという回答がでたところと言われたことが、おそらく自治会長さんだと思うのです が、よい結果が出たとしても、実際はそのようなことは無いのに、あたかも結果が、その地区 が非常に盛り上がっているような感じで捉えられると大変困ります、というようなことを言 われていました。回答してくださっている方は、地域福祉に関して関心がある、そのような 方々が回答されているため、恐らくそこでは意識が地区で高く出ることがありました。今回 アンケート結果は公表されるのですか。そこが、丸亀市よりも規模の小さい市町村でもあつ たため、特定のそのような誤解がされると少々困るということで、結果的に地区別の結果 を公表しないということになったのです。それを見た方がどのように評価されるかというこ とからです。私自身は、それが一つの勉強というか、そのような考え方があるのかと思いまし た。自治会に入っている方が減っている中で、そのような違う見方をされる、ということもあ ったのかと思いました。丸亀市は非常に大きいところで、このように出てくるのかというこ とは別の問題かと思うのですが、少し公表されるにあたって、いろいろな方が見られると思 うため、地区別によって何か差があるということも、いろいろな見方もあるのかというよう に少し感じました。 質問ではないのですが、他はいかがでしょうか。 少し気になるようなことなどがあれば、後日、お問い合わせいただきたいと思います。ご意見 がないようです。 アンケートにつきましては、了承したいと思います。 それでは、続きからお願いします。
事務局(万 谷) 武田委員	【資料 5 に基づき報告】(続きから) すみません。文字の訂正です。 座談会の 31 ページ、3 月に郡家地区で住民座談会があり、私は郡家地区の出身ですが、群馬県 の「群」になっております。何々郡の「郡」です。資料の 31 ページです。座談会の時にも指摘した のですが、変わっていません。

	訂正をよろしくお願いします。
事務局(万谷)	申し訳ございません。
武田委員	郡家地区の郡家の「群」については訂正しておきます。
北川会長	座談会の時にも指摘しましたが、以上です。
齊藤委員	資料5につきましては、いかがでしょうか。
	よくわかりました。みんなそれぞれ自分の住んでいるところをよしとした考え方というのは、よいことだと思います。
	中学校区で意味がわからないところがあります。20ページのところの「・灯油宅配とたすけあいサービスの連携」、「・ガソリンスタンドやコミュニティを活用した仕組みづくり」ということは、どのような感じで、生徒の方から出るのですか。
事務局(万谷)	住民の方と企業も参加していただき、住民座談会を開催しておりまして、その時にガソリンスタンド事業者の方がいらっしゃいまして、一緒に共同でやることができないかということで出た項目かと思います。
北川会長	他によろしいでしょうか。
	「資料5」についてはよろしいでしょうか。
	「資料6」についてのご説明をお願いいたします。
稲田室長	【資料6に基づき報告】
北川会長	ありがとうございました。
事務局(稲田室長)	再度確認のためにお伝えさせていただきます。
	第3回丸亀市福祉推進委員会、10月6日、月曜日、14時からでございます。そして、第4回丸亀市福祉推進委員会、11月27日、木曜日、14時から、第5回丸亀市福祉推進委員会、2月13日、金曜日、14時からでございます。
	よろしくお願いいたします。
北川会長	ここまでのところで、ご質問等ありますでしょうか。お願いします。

齊藤委員	先ほどの座談会の東中学校区のところで、「コミュニティを超えた外国人住民との交流」ということが一番上にきているのですが、この意見は大きいものなのですか。もし、それなりの意見だとするならば、今回、初めてこの委員会に出させていただいたのですが、今後、丸亀市の福祉推進ということを考えた時に、本日のいろいろな資料等々を見た中で、どうしても丸亀市の場合、今、おそらく 1.7%、2%弱程の外国人が永住という形で丸亀市に住んでいます。そのような中で、どうしても避けて通れない一面を持っていると思います。いわゆる共生社会を作っていく上においては、どうしてもそこところは今後の大きな課題になってくると思います。まちに推進委員会や福祉の方の事業計画を立てていくうえにおいて、そこところを少し考えて計画を立てていくことが大事かと思います。 ほかの内容については、まったく問題ないかと思いました。 ただ、全体としては、やはり福祉に対する興味・関心というものが、まだまだかと思っています。アンケートの中の結果を見て、地域とのつながり、協働というか助け合いのところから福祉とは、よい関係が生まれてくると思います。そのような担い手、担っていく人材を育てていかなければならないのかと思います。そのような一つのプロミスということについても大事ですし、コミュニティにおける、そのような話し合いの場、座談会の場は大いにすべきだと思います。ただ、そこでどうしても外国人ということで、離れてしまうということがあるため、そのあたりも含めて考えていただければよいのかと思います。 ただこれは福祉だけではなく、教育委員会の問題でもあり、丸亀市の総合計画の中に盛り込んでいかないといけないことだと思っています。 そのようなことで、少々感じたことです。
北川会長	ありがとうございます。よろしいでしょうか。 私の方でも何か意見をまとめて言おうと思っていたのですが、齊藤委員がまとめて言ってくれました。ありがとうございました。 特に関心のある課題としても出てきているところかと思いますが、重層的支援も始まったところなんです。座談会の結果も大変重要な回答もあると思いますし、アンケート結果の方からも出てきたことを次の骨子案の中にぜひ取り入れていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。 それでは、ここまでにつきましては、了承したいと思います。
北川会長	議題 4 その他 議題 4.その他に移らせていただきたいと思います。 議事にかかることにつきまして、委員の皆さまから何かございますか。全体を通しての何か意見や感想などでもよいですが、よろしいでしょうか。 それでは長い時間になってしまいましたが、これで本日の議事は終了しました。円滑な進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

議長(近藤課長)	これで議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。 6. その他 北川会長、どうもありがとうございました。 また、委員の皆さま、長時間にわたりましてご審議ありがとうございました。 それでは、もう少し残っているため、説明させていただきます。 次第 6.その他というところです。 議事の審議関係は終わりましたが、せっかくの機会です。この場で委員の皆さまから何かご意見などあれば、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。大丈夫ですか。 事務局から何かありますか。
稲田室長 議長(近藤課長)	【事務連絡】 それでは、本日の第 1 回丸亀市福祉推進委員会は、これで終了とさせていただきたいと思います。貴重なご審議ありがとうございました。 次回、第 2 回は書面ということになっております。 お集まりいただくのは、先ほど調整させていただきましたように、第 3 回ということで、10 月 6 日、月曜日、午後 2 時からとなります。会場も含めまして資料が揃い次第、適切な時期に改めてご案内をさせていただきます。ご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。 また、地域福祉計画以外の計画の策定も今年度、取りかかることにしております。そのような関係で、先ほど調整したものと別途、お集まりいただく場合もございます。その際は担当からまたご案内をさせていただくようになろうかと思っております。案内があった場合は、ご出席賜りますようお願いいたします。 それでは、これで終わります。 お忘れ物のないようご確認の上、お帰りください。 どうもありがとうございました。 7.閉会 <閉 会>